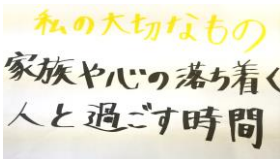
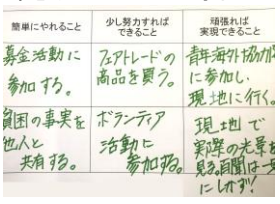


# ラオスを通して考える、わたしの○○

所属	愛知県立熱田高等学校	実践者	早川 修平 (L)
対象	高校2年生	時間数	3時間(50分×3)
場所	教室	実践教科	ホームルーム
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラオスの生活や文化に触れ、ラオスを含む途上国について肯定的に知る。</li> <li>・海外で活躍する日本人の活動から、自分の進路についてふりかえる。</li> <li>・途上国が抱える問題について知り、その問題を解決するために自分ができていることを考える。</li> </ul>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>～ わたしが大切にしているもの ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アイスブレーキング ～バースデーチェーン～ 【10分】</li> <li>◆ LAOS クイズ 【15分】</li> <li>◆ 私が大切にしているものって何だろう？ 【25分】</li> </ul> <p>☆ なりきり自己紹介 自己紹介内容 名前・年齢・職業・大切にしているもの</p>	<p>PPT 資料、写真、A4用紙、ペン</p> 
	2	<p>～ わたしが今できること ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 前回のふりかえり 【5分】</li> <li>◆ アイスブレーキング ～4つのわたし、1つはウソ～ 【10分】</li> <li>◆ ラオスの森林を救え！！ 【35分】</li> </ul> <p>☆ 派生図、ブレインストーミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ わたしに今できること！</li> <li>☆ 今わたしにできること 3か条</li> </ul>	<p>PPT 資料、写真・映像、A4用紙、模造紙、ペン</p> <p>今私にできること3か条</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 辛い、きついと思う事をやりとげる</li> <li>② 人とのつながりを大事にする</li> <li>③ あきらめない、感謝</li> </ol>
	3	<p>～ 貧困の悪循環を断ち切るためにわたしにできること ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 前回のふりかえり 【5分】</li> <li>◆ 貧困とは何か?? 【20分】</li> </ul> <p>☆ 因果関係図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 貧困の悪循環を断ち切るためには?? 【20分】</li> </ul> <p>☆ 貧困の悪循環(カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ わたしが「やれる、できる、頑張る！」【5分】</li> <li>☆ 「やれる、できる、頑張る！」を宣言する。</li> </ul>	<p>PPT 資料、A4用紙、ペン、模造紙、配布資料「年収450ドル以下の暮らし」、貧困の悪循環を断ち切るための事例</p> 
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や映像を通じてラオスと肯定的に出会い、ラオスに対しての興味・関心が高まったように感じた。</li> <li>・生徒たちはプログラムの中で、大切なものをふりかえり、これからの行動を考え、環境問題・貧困・国際協力など大きな課題について向き合うことができた。</li> <li>・参加型を通して、生徒たちの新たな一面を見ることができた。また、生徒たちが他人の意見に耳を傾けること、自分自身の意見をしっかりと伝えることができるようになったと感じた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時間を確保することができなかつたため、少ない時間の中でのプログラムとなってしまった。したがって、ねらいを十分に伝えきることができなかつたと感じる。特に自分の進路についてふりかえる時間は足らなかつたと思う。少ない時間のなかでも伝えたいことをしっかりと伝えられるプログラムの構成が今後の課題である。</li> </ul>		
備考			

## [ 授業実践の詳細 ]

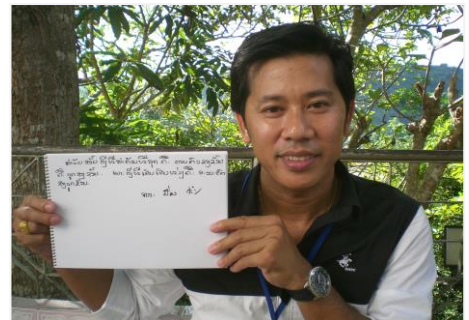
### 1 時限目「タイトル 私が大切にしているもの」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① 『アイスブレイキング ～ バースデーチェーン』… 声を出さずに誕生日順に並び、教室の中に1つの輪をつくる。自分の考えや想いを伝える手段は言葉だけではないことに気付く。
- ② 『ラオスってどんな国？』…ラオスの写真を見て、ラオスと肯定的に出会う。
- ③ 『LAOS クイズ』…ラオスに関するクイズ(食、学校、人)に答え、ラオスについての知識を深める。
- ④ 『日本とラオスの共通点』…ラオスの写真を見て、日本にもあるものをたくさん探す。日本とラオスの共通点に気付く、途上国であるラオスに親近感をもつ。
- ⑤ 『なりきり自己紹介』…ラオスの人になりきって自己紹介(名前、職業、大切にしているモノ)をする。ラオスの人たちが大切にしているモノに気付く。
- ⑥ 『わたしの大切にしているモノってなんだろう？』…ラオスの人たちが大切にしているモノは「家族、兄弟、親、人とのつながり」であった。そこから自分たちが大切にしているモノをふりかえり、グループ内で発表する。

#### この時限のねらい

ラオスの生活や文化に触れ、ラオスなどの途上国について肯定的に知る。また、ラオスの人たちが大切にしているものから、自分たちの大切にしているもの、大切にしなければならぬものについて気付く。



#### 2 子どもの活動の成果・反応

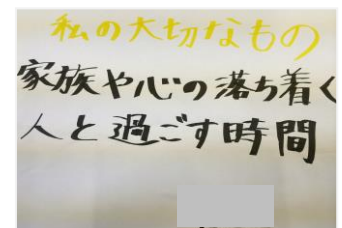
- ◇ ラオスという国に肯定的に出会うことで、生徒のラオスに対しての興味・関心が高まった。授業が終わった後、ラオスについて質問する生徒や、ラオスの写真や映像をもっと見たいという生徒がたくさんいた。
- ◇ 日本とラオスの共通点を探す活動では、非常に多くの意見が出された。そして、生徒の中には「途上国は汚い」「途上国の子たちは貧しくてかわいそうだ」という考えを持っているものもいたが、先進国である日本と途上国であるラオスに多くの共通点があったことから、途上国にあったマイナスのイメージがなくなったように感じられた。
- ◇ 大切にしているものをふりかえる活動で、生徒から「たくさん書いてもいいですか？」という発言が出てきたときに非常に驚いた。1人1つくらい考えて書くことができれば良いなと思っていた私の予想を上回る結果になりとてもよかった。

#### 3 使用した教材

<教材1> ラオスの写真やクイズに関するパワーポイント(上写真)

<教材2> なりきり自己紹介(中写真)

<成果1> わたしの大切にしているもの



## 1 子どもの活動の流れ

- ① 『前回のふりかえり』
- ② 『アイスブレーキング～4つのわたし、1つはウソ』…マイブームを4つ考え、その中に1つウソのマイブームを加える。グループで聞いている生徒は、どれがウソのマイブームか考え、当てる。
- ③ 『ラオスの森林を救え！！』…ラオスの森林が映った写真を各グループ1枚見る。その写真からラオスの森林に対するイメージをまとめる。その際、1つのグループにのみ焼き畑後の森林を見せ、ラオスの森林減少問題について気付かせる。その後、森林減少をそのままにしておくラオスではどのようなことが起こることについて派生図を用いてまとめ、森林減少を解決するための方法をブレインストーミングでまとめる。そして、最後にラオスで実際に取り組まれている森林減少抑制のための活動を知る。
- ④ 『わたしに今できることって何だろう？』…ラオスで活躍する日本人の他の活動紹介を受けたあと、その方たちからのメッセージを聞く。そこから自分の進路、将来やりたいことをふりかえり、実現するために今わたしにできることを考え、まとめる。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ラオスの森林減少の問題を考えたとき、そのままにしておくラオスの人たちだけでなく、日本にいるわたしたちにも深刻な影響が出てくると気付いた生徒もいた。
- ◇ 森林減少抑制のための活動や青年海外協力隊の活動を知って、自分も将来同じような活動をしてみたいと考える生徒もいた。また、将来考えている進路を実現させるためには何が必要なのかを真剣に考え、そのための行動を始める生徒もいた。

## 3 使用した教材

<教材3> ラオスの森林の写真(写真)

## この時限のねらい

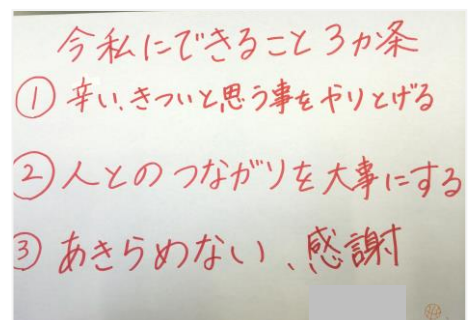
海外で活躍する日本人の活動から、自分の進路についてふりかえり、進路実現のために今やらなければならないことをまとめ、行動する。



<成果2> 森林減少をほかっておくとうなる？



<成果3> 森林減少抑制に必要なもの



<成果4> 今わたしにできること 3か条

## 1 子どもの活動の流れ

- ① 『前回のふりかえり』
- ② 『貧困とは？』… 貧困とは「主に経済的理由によって生活が苦しくなり、必要最低限の暮らし、生活ができない状況」であると知り、もしも貧困に陥ってしまうとどんなことが起こるか、ポップコーン方式で考える。
- ③ 『年収 450 ドル以下の暮らし』… プリントを読み、一番気になったところに線を引く。その後、グループの中でどこが一番気になったのかを共有する。
- ④ 『なぜ貧困に陥るのか？』… 貧困に陥る原因を因果関係図を用いて考える。
- ⑤ 『貧困の悪循環』… グループで話し合いながら、8枚のカードを並べて、円をつくる。8枚のカードには、「貧困」「学校へ行けない」「食べ物が十分でない」「職業技術がない」「栄養が十分ではない」「仕事がない」「健康でない」「不十分な収入」と書いてある。
- ⑥ 『貧困の悪循環から脱するためには？』… 貧困の悪循環から脱するために必要なもの、役立つものをテーマにブレインストーミングをする。その後、貧困の悪循環を断ち切るための実際の取り組みをプリントを読んで知る。
- ⑦ 『わたしがやれる、できる、頑張る！』… 貧困の悪循環を断ち切るために自分たちができることを考え、グループ内で発表する。

## この時限のねらい

貧困には悪循環をする性質があることを知る。そして、その貧困の悪循環を断ち切るために自分自身にできることを考え、行動していく。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 貧困の悪循環に陥ると、脱することが非常に難しいと感じる生徒がたくさんいた。そして、まわりの国にはそのような状況で生活をしている人たちがたくさんいるのだと知り、自分たちには何ができるのかを真剣に考えていた。
- ◇ グループワークを重ねるごとに、話し合いが非常に活性化しているように感じられた。参加型で行うプログラムによって、人の意見を聞くことができ、また、自分の意見を相手にしっかりと伝えられるようになったからだと思う。



<成果5> なぜ貧困に陥るのか？

## 3 使用した教材

<教材4> (公財)愛知県国際交流協会『世界の国を知る・世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル Ver.2』

簡単にやれること	少し努力すれば できること	頑張れば 実現できること
募金活動に参加する。	フェアトレードの商品を買う。	青年海外協会の現地に行く。
貧困の事実を 他人と共有する。	ボランティア活動に参加する。	現地で実際の光景を見る。自問はずにしない!

<成果6> やれる、できる、頑張る！